

一ヶ月、100円を  
三重の人権教育推進のためにお願いします。

年会費 一口 1,200円



- ① 1月～3月に入会された方は、会員特典は入会時から適用しますが、会費納入は翌年度からとなります。
- ② 入会後は、退会のお申し出がない限り、毎年自動継続となります。
- ③ 会費につきまして、公立学校の教職員の方は、教文システムによる自動引き落としもお選びいただけます。教文システムによる自動引き落とし以外の方は、銀行振り込み、または事務局へ現金でお届けいただく形での納入となります。
- ④ 入会申込書等関係書類は、三重県人教事務局・各地同研事務局にお問い合わせいただくか、三重県人教ホームページよりダウンロードしてください。

### 個人会員に入会していただくこと…

- 夏季・冬季に開催する会員研修会にご参加いただけます。
- 三重県人教で扱っている書籍を会員価格でご購入いただけます。
- 会報誌「夢のとびら」で人権教育・人権保育に関する情報をお届けします。

◇すでにご加入の皆さんへ

引き続きご支援いただくとともに、増口にご協力いただきますようお願いいたします。

(2口会員には、機関紙「みちしるべ」を無料で毎月お届けします)

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会 事務局

〒514-0113

三重県津市一身田大古曾 693-1 三重県人権センター内

Tel 059-233-5530 Fax 059-233-5533

URL <http://www.sandokyo.jp>

E-mail [sandokyo@poem.ocn.ne.jp](mailto:sandokyo@poem.ocn.ne.jp)

Mie Human Rights Educators' Association

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会

2018 年度版

# 入会のご案内

一人ひとりの子どもの  
自己実現をめざして



人権教育をすべての教育活動の基本に！  
三重の人権教育をみなさんと

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会の歩み

- 1953年 三重県同和教育研究会結成
- 1967年 第1回三重県同和教育研究大会（松阪市）
- 1975年 機関紙「三重の同和教育」創刊
- 1983年 三重県解放保育研究会結成
- 1985年 第1回三重県解放保育研究集会
- 2000年 県内69全市町村（当時）の加盟が実現
- 2001年 研究大会名称を「三重県人権・同和教育研究大会」と変更
- 2002年 組織名称を「三重県人権・同和教育研究協議会」と改称
- 2003年 三同教結成50周年
- 2005年 社団法人の認可を受け、組織名称を「三重県人権教育研究協議会」と改称
- 2012年4月 公益社団法人として認定
- 2013年 三重県人教60周年
- 2018年 第52回三重県人権・同和教育研究大会（伊賀・名張地区にて開催予定）



# こんな事業をしています!!



## 三重県人権・同和教育研究大会

◆県内各地の実践レポートに基づいて実践報告・討議を行います。

☆2017年度分科会

人権確立をめざす教育・保育の創造

[子どもの育ちと子育て支援][すべての教育活動の基盤としての仲間づくり][人権・部落問題学習]

[共に生き、共に学ぶ教育・保育][子どもの自主的な活動][進路・学力保障]

人権確立をめざすまちづくり

[地域の教育力と学習・啓発活動][生活要求と地域活動(文化創造・識字運動等)][地域における子どもの活動]

## 会員研修会

◆個人会員を対象にした研修会を夏季・冬季に企画し、開催します。

☆2017年度講座(夏季:①②、冬季:③④)

①「“あの子に届ける”人権学習～人権学習指導資料『みんなのひろば』を活用して～」

② 体験しよう!感じてみよう!!部落問題学習

③ 部落問題学習をすべての学校ですすめるために～全同教大会レポートに学ぶPart 1～

④ 共生社会の実現に向けた現状と課題～全同教大会レポートに学ぶPart 2～

## 「せいかつ」実践交流会

◆人権教育読本「せいかつ」をはじめとする人権学習教材を使った実践交流を行います。

☆2017年度 記念講演「すべての子どもの学力を育むー『力のある学校』づくり」

志水 宏吉 さん

## 人権保育推進支援事業

◆人権保育推進のために実践内容の研究を進めます。

☆2017年度テーマ 『ともに育ち合う保育』 ～保護者とともに～

## 人権保育専門研修事業

◆人権保育にかかわる研修講座を県内各地で開催しています。

☆2017年度 人権保育専門講座テーマ

「障がい児共生保育～大切にしたい視点～(棚田純子さん)」

「一人ひとりを大切にする人権保育の実践(西原美保子さん)」

「子どもの貧困と子ども支援(徳丸ゆき子さん)」

「造形活動を通して自尊感情を高める(永淵泰一郎さん)」

「子どもの権利と子育て支援(田部真樹子さん)」

「多様な性を考える(田中一步さん、近藤孝子さん)」

「これからの多文化共生保育に求められること(平野知見さん)」

「各園における人権保育を推進するために(ト田真一郎さん)」(4回の連続講座として開催)

## 所長・園長研修会

◆保育所・保育園・幼稚園・こども園の所長・園長を対象に講演会を開催します。

☆2017年度 演 題 「絵本の中から人権をどう学ぶか」 加藤 啓子 さん

## 豊かな就学前人権教育実践交流会

(2017年度のみ「全人教教育課題別研究会」と併催しました。)

◆人権保育・教育の実践報告、保護者・地域の現実から出発した実践を交流します。

☆2017年度 記念講演「地域福祉と教育の心を問う」

～制度の隙間から未来を拓く・地域福祉施設の社会化から地域化へ～ 西野 伸一さん

## 部落問題学習等実践研究事業

◆県内の学校、幼稚園、保育所(園)等における人権学習実践のサポートを行います。

## 機関紙の発行

◆機関紙「みちしるべ」を年間11号発行し、人権教育に関わる情報発信をしています。

## 会報誌の発行

◆会報誌「夢のとびら」を年3回発行し、会員のみなさまに情報発信をしています。

☆第36号 差別のない三重県土をめざして～今を生きるわたしたちの責務～

☆第37号 子どもたちに「学ぶ権利を保障する」教育を!

☆第38号 公正採用を実現するために

## 講演集録の発行

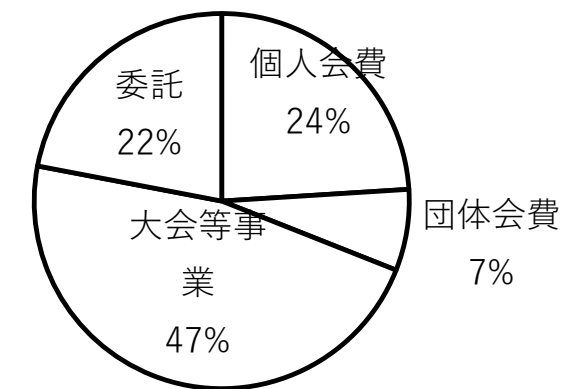
◆講演集録「みちしるべ」を発行し、各種研修会で行われた講演の内容を発信しています。

## 教材、書籍の展示・販売

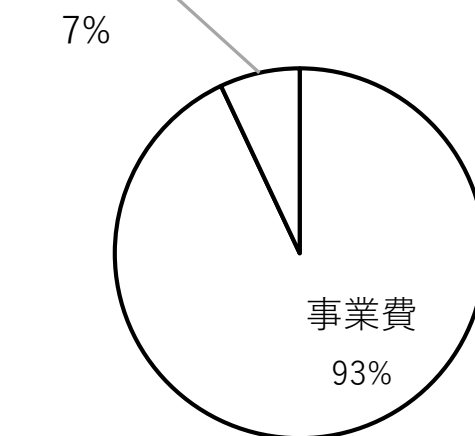
◆人権保育・人権教育・人権啓発に関する教材・書籍を展示・販売しています。

## 収支の各内訳 (2017年度)

### 収入の内訳



### 支出の内訳



○事業費…各種研修会や実践交流会機関紙・会報誌の発行、その他事業運営にかかわる費用

○管理費…通信運搬費、会議費、光熱水費、その他事務局運営にかかわる費用

